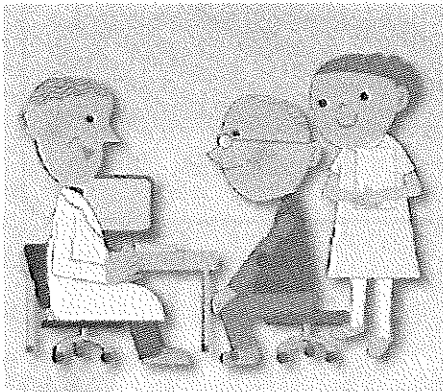


港区在宅医療・介護連携推進セミナー

入場無料

これからも自分らしく暮らそう

～ 住み慣れた場所で生活を続けていくために ～



在宅医療とは？

在宅医療とは、通院が困難な患者さんや病院を退院して自宅で療養している患者さんの自宅を医師や看護師などの医療スタッフが定期的に訪問し、医療を継続して行うことです。

入院しなくても在宅で医療が受けられます。

「年をとっても病気になっても、住み慣れた場所で、自分らしい生活を続けたい！」皆さんのそんな思いをかなえるためには、どのようなことが必要なのでしょう。

そんな悩みに対して専門医の立場からお話します。

第1部

「- 急性期病院から在宅医療へ (現状と問題点) -」

講師: 多根総合病院

副院長 刀山 五郎 先生

第2部

「在宅診療中の 基幹病院とのかかわりかた。」

講師: 医療法人 信和会 塩見医院

院長 塩見 啓二 先生

- ・ 日時: 平成28年2月18日(木曜日)
午後2時～午後4時
- ・ 場所: 大阪市港区民センター ホール
〒552-0007 大阪市港区弁天2-1-5
電話: 06-6572-0020 Fax: 06-6572-0274
- ・ 問合せ先: 大阪市港区保健福祉センター
〒552-8510 大阪市港区市岡1-15-25
電話: 06-6576-9857 Fax: 06-6572-9514
- ・ 定員: 200名(事前申込み不要)



主催: 港区保健福祉センター

共催: 大阪市港区在宅医療・介護連携推進会議

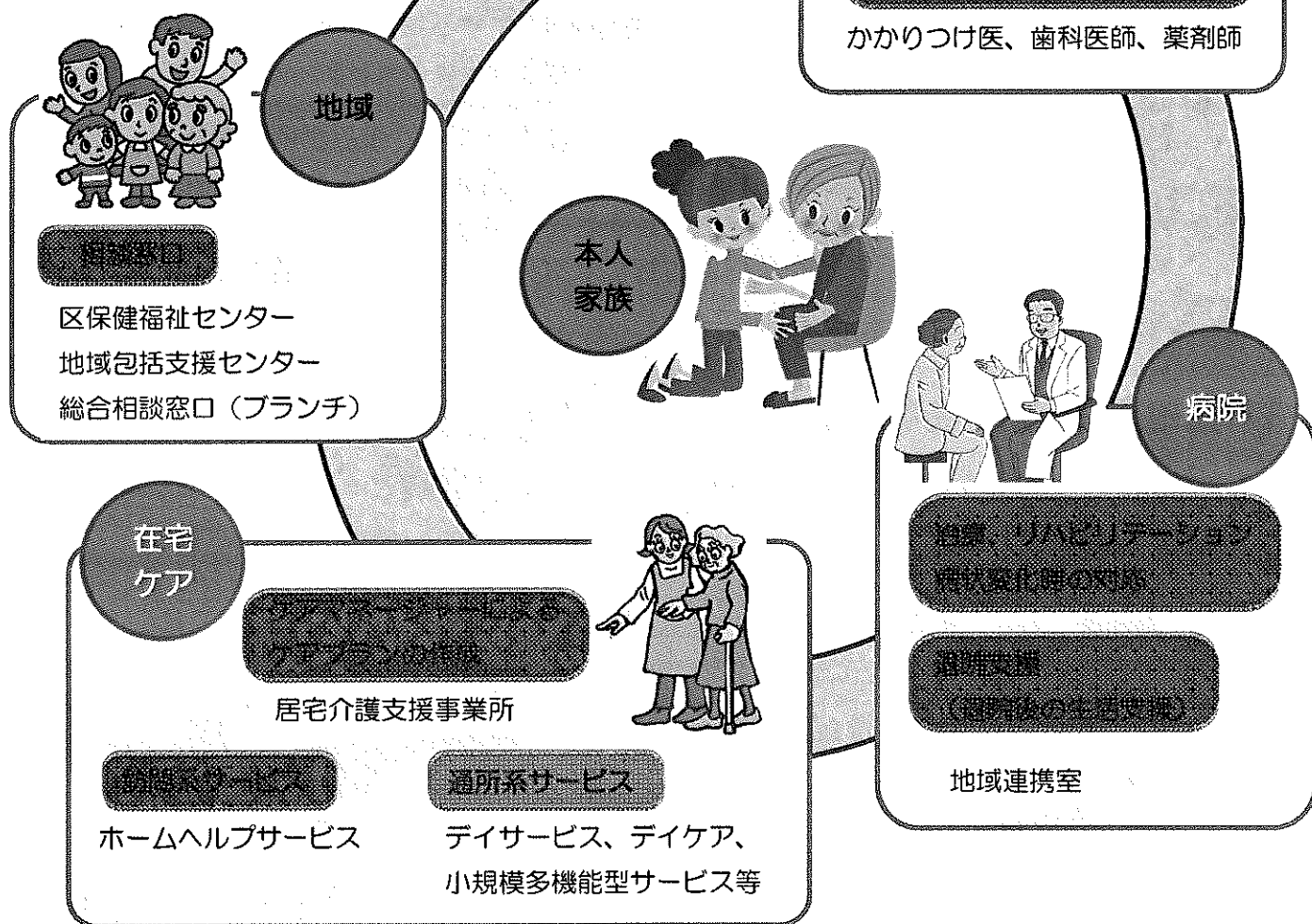
(大阪市港区医師会、大阪市港区歯科医師会、大阪府薬剤師会港区支部、大阪みなと中央病院、港区居宅介護支援事業者連絡会、大阪府訪問看護ステーション協会市西ブロック、港区サービス提供責任者のつどい、港区デイ事業者連絡会、港区地域包括支援センター、港区南部地域包括支援センター、港南・市岡東・築港ランチ)

退院後の生活を支えるために

皆さんがお住まいの地域には、在宅生活を支援する訪問診療などの医療サービスやホームヘルパーなどの介護サービスを提供する様々な機関があります。

これらが協力してサービスを提供し在宅生活を支えます。

また、地域包括支援センターなどの相談窓口もあります。



刀山 五郎 先生のプロフィール

昭和 56 年東京医科大学医学部卒業、医学博士。
大阪府立成人病センター外科レジデント、NTT
西日本病院、アメリカ留学を経て、四天王寺病
院外科医長等を歴任。平成 22 年より多根総合
病院副院長就任。同年緩和ケアの基本教育に関
する指導者研修会修了。

◆所属学会◆

日本外科学会/日本消化器外科学会/
日本緩和医療学会/日本医療マネジメント学会
/日本臨牀腫瘍学会

塩見 啓二先生のプロフィール

港通り沿い市岡高校東で平成 11 年に内科・
循環器科の医院を開設。

以前から在宅診療に関する厚生省の委託研
究を行い、在宅診療には 20 年以上前から携わ
っておられます。現在は機能強化型支援診療所
に認定され、人工呼吸器をつけた重度の方や難
病の方・住み慣れた自宅で可能な限り生活を希
望される方の支援をしておられます。

また、介護者の不安や負担軽減にも力を入れ
ておられます。